

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 南っ子		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 23日		～ 令和8年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名(18世帯)	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 23日		～ 令和8年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	*いつも子どもの様子に寄り添い、子どもの思いやペースに合わせてくれている。	*不安感が強い子や登園渋りが見られるお子さんに対して、保護者と密に連携を図り、家庭での様子の聞き取りや登園後の様子を伝えるようにしている。	*子どもたちの気持ちに寄り添い、子どもたちが楽しかった、また行きたいと思えるような活動の工夫をする。
2	*親子イベントがあり、他の保護者とも交流出来た。	*普段は、母子分離で通園しているため、年に数回は親子で参加できるイベントを企画している。 *今年度は、年長児保護者と年中児保護者の交流の中で就学先の選び方やランドセルを買う時期等、経験者からの声を聞く機会が作れた。	*親子イベントを継続して行い、保護者が参加してみたいと思うような企画をたてる。 *先輩保護者から話を聞く機会を作りたい。(小学生の保護者・中学生の保護者等)
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	*地域の子どもたちとの交流が少ない。	*幼稚園、保育園との交流を作るためにも、連携をさらに深めていく必要がある。	*幼稚園や保育園との連携を更に密にして、一緒に交流できる機会を設けられるように努めたい。 *散歩や公園など、外に出掛けた際には地域の方と交流出来る様にしていきたい。
2	*非常時の訓練の取り組みに関して、保護者へ周知されていない。	*年に1回以上、避難訓練を実施していますが園便りの活動欄でのお知らせと今年度は活動の目的に記載しているが、目に入りにくいかもしれない。 *全グループは実施できていないため。	*園便り等に分かりやすく記載する *各グループ年に1回は実施できるように年間計画を立てる。
3			